

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公表番号】特表2013-537654(P2013-537654A)

【公表日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2013-054

【出願番号】特願2013-513590(P2013-513590)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 T 7/60 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 220 B

G 06 F 17/30 170 D

G 06 T 7/60 110

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月21日(2014.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画像を有する映像データを処理する方法(100)であって、

前記複数の画像は映像シーケンスの先行フレーム及び後続フレームを有し、

前記複数の画像は、前記先行フレーム内の少なくとも第1の領域又はパッチと、前記後続フレーム内の少なくとも第2領域又はパッチとのラベルを有し、前記方法は、

前記複数の画像のモデルを取得するステップと、

前記第1及び/又は第2の領域又はパッチのラベルを、シーケンスの少なくとも一つのほかの画像に伝ばさせるために、前記モデルを用いるステップであって、前記伝ばは、有向グラフ法によって前記ほかの画像内のラベルを推定する確率的方法による、ステップと、を有する方法。

【請求項2】

前記モデルは前記複数の画像とそのラベルとの合同モデルであるか、

前記モデルは前記複数の画像とその対応するラベルとの生成確率モデルであるか、

前記モデルは後続画像又は先行画像を生成するために一つの画像を用いる順次生成モデルであるか、

前記モデルは順次生成潜在変数モデルであるか、又は

前記モデルは隠れマルコフモデルである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

後続フレーム及び/又は先行フレームからの予測を用いて、前記推定されたラベル内の不確定性を判定する、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記画像は色チャネルを有し、各色チャネルは独立に処理される、請求項1~3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記ほかの画像における前記ラベルの推定は、前記先行フレームからの前方転送と、前記後続フレームからの後方転送とを含む、請求項1~4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記ほかの画像内のラベルは，前記先行画像又は前記後続画像内の複数の領域又はパッチから選択され，前記の推定された領域又はパッチは，前記先行画像又は前記後続画像内の領域又はパッチと，前記ほかの画像内の領域又はパッチとの間で最高の輝度一致を有する領域又はパッチである，請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

複数の画像を有する映像データを処理する処理システムであって，
前記複数の画像は先行フレーム及び後続フレームを有し，
前記複数の画像は，前記先行フレーム内の少なくとも第 1 の領域又はパッチと，前記後続フレーム内の少なくとも第 2 領域又はパッチとのラベルを有し，
メモリ内に記憶された前記複数の画像のモデルと，
前記第 1 及び / 又は第 2 の領域又はパッチのラベルを，シーケンスの少なくとも一つのほかの画像に伝ばさせるラベル伝ば手段であって，前記伝ばは，有向グラフ法によって前記ほかの画像内のラベルを推定する，確率的方法による，手段と，を備えるシステム。

【請求項 8】

前記モデルは前記複数の画像とそのラベルとの合同モデルであるか，
前記モデルは前記複数の画像とその対応するラベルとの生成確率モデルであるか，
前記モデルは後続画像又は先行画像を生成するために一つの画像を用いる順次生成モデルであるか，
前記モデルは順次生成潜在変数モデルであるか，又は
前記モデルは隠れマルコフモデルである，請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

後続フレーム及び / 又は先行フレームからの予測を用いて，前記推定されたラベル内の不確定性を判定する手段を備える，請求項 7 又は 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記画像は色チャネルを有し，各色チャネルは独立に処理される，請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 11】

前記ラベル伝ば手段は，前記先行フレームからの前方転送と，前記後続フレームからの後方転送とによって，前記ほかの画像における前記ラベルを推定するようになっている，請求項 7 ~ 10 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 12】

処理手段上で実行したとき，請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法を実行するための計算機プログラム。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の計算機プログラムを記憶する機械可読データ記憶装置。